

コロナ禍のもとで国民生活と日本経済は大きな打撃を受けています。当社への相談も日々、増加傾向を示しています。今号では「助け合いネットワーク」を活かし連携で解決した今年の事例を紹介させていただきます。

## 信頼できる不動産業者を求めて



札幌コミュニティ型建設業推進協議会（札幌市＋事務局＋参画企業で構成）の「住まいと暮らしの相談室」から所有している不動産の売却相談でAさんという方を紹介されました。

話を聞いてみると、もともと他の不動産会社に依頼して売出しを行っていましたが、Aさんの希望を無視して強引に安い金額で売却しようとしていたため信用できず売出しをやめたという経緯がありました。

そのため、まずはその不動産の無料査定を行い、どれくらいで売れるかの調査したところ、Aさんの希望金額で売却できる可能性があるという結果になり、希望金額で売出し開始したところ、すぐに購入希望者が現れ無事契約することができました。Aさんは関東にお住いのためコロナウイルスの影響も考え、札幌には来ず一度もお会いしないまま決済までおえられましたが、お電話口で希望どおり売却できたことを喜んでおられました。

## 司法書士、ソーシャルワーカーと連携して



病院のソーシャルワーカーさんからの紹介で、病院に入院している患者さんで高齢の所有者Bさんの自宅の不動産無料査定依頼がありました。

査定後詳しく話を聞いたところ、自宅に戻り生活できる状態ではなく、また入院費用も払うことができない経済状況で、さらに意思判断能力が無く、今の状態では不動産も売却できないことから成年後見制度が必要と判断し、司法書士を紹介させていただくことになりました。

司法書士が成年後見人となり、弊社の方で売却活動を行った結果、不動産の売却を無事に完了することができました。

今回の案件では、病院のソーシャルワーカー、不動産業者である弊社、司法書士が連携し、助け合いネットワークを生かした売却となりました。

## 債務整理で自宅を売却



連携している異業種交流団体を通じて自宅売却の相談が有りました。Cさんは、土木関係の事業に一人親方で従事していました。仕事量に波が有りクレジットの借入で資金繰りをしていましたが、徐々に借入額が増え、住宅ローンの支払いが滞るようになりました。異業種交流団体との相談で、自宅マンションを売却し住宅ローンの残金も含め借金整理をすることにしました。借金整理は弁護士に依頼し、自宅売却を当社が引き受けました。

当社の査定額は売却しても少し借金が残る状態でしたが、抵当権者との協議で売出すことが出来ました。転居を先に済ませ、空家で売出したところ、今年5月に「ベトナム人研修生の寮として購入したい」と申込みが有り、抵当権者の承諾を得て売却を無事完了することが出来ました。

# 北嶺通信

建築・リフォームは…

北嶺グループ (株)共同舎へ

2020年

11・12月

NO.77

## 北嶺不動産有限会社

札幌市東区北31条東17丁目5番24号

T (011) 783-5667 F (011) 783-5768

E-mail hokurei1985@topaz.ocn.ne.jp

URL <http://hokurei-fudousan.co.jp>

※裏面もご覧ください。